

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことばの教室ことのは 2 号館			
○保護者評価実施期間	令和7年年 2月 18日		～	令和7年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人	(回答者数)	35人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 25日		～	令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数)	11人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 24日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	1 対 1 の個別支援を基本としており、児童の気持ちに寄り添い、児童が自発的に言葉を発する気持ちになるよう職員が関わっていく。	言語聴覚士を中心にコミュニケーションの基本となる 1 対 1 の信頼関係の中から要求の発語を促したり、気持ちの伝え方の見本を見せ復唱等を促したりなど、児童それぞれの発達に応じてコミュニケーションのスキルを促している。	複数人の言語聴覚士を配置しているが、他にも理学療法士や作業療法士などのセラピストを配置しさらに多面的な専門的療育を展開したい。
2	言語的発達を支援するため、複数人の言語聴覚士を配置し、専門技術的な支援や訓練、また児童一人一人の評価や検査等を行なっている。	言語聴覚士だけでなく、保育士、児童指導員など経験豊富なスタッフを配置し様々な職種の職員が相互に連携（多職種連携）し、言語だけでなく総合的な発達を促す訓練を行なっている。	複数人の言語聴覚士を配置しているが、更に理学療法士や作業療法士などの多くのセラピストを配置しさらに多面的な専門的療育を展開したい。
3	ことばの教室ことのはとして、複数の姉妹教室を運営しており、多くの言語聴覚士や理学療法士、作業療法士を含め支援の方法などについて、議論や情報の共有などを行い、それぞれの教室での支援へフィードバックしている。	月に 2 度オンラインで各教室を結び勉強会や意見交換、情報の共有を行なっている。	教室間の職員の交換留学を行うことで、各教室の取り組み方や運営方法など学ぶ合うことで、更に良い支援へ繋げていけるよう会社全体で取り組んでいる。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	毎回の訓練についての申し送りや児童についての情報共有を行なっており、個々の保護者との信頼関係は築けている。しかし、保護者（全体）への支援としては、保護者会の開催などが実現できていない。	保護者からの訓練への要望が大きく、年度によっては特に保護者会開催への要望もないことも多く、利用日を休みにしてまで実施できていない。	次年度は、保護者へ保護者会開催についてのニーズをアンケート等で確認し、希望者が少数であっても 1 回は開催を計画実施したい。
2	地域との交流や地域の保育園や学童クラブ等との交流が少ない。	ことのはの利用児童の実態として、言葉でのコミュニケーションが苦手な子や自閉的傾向の強い児童が多く、地域の健常児とのコミュニケーションが難しい。そのため定期交流などが計画できていない。	施設・団体全体での交流については難しいが、言葉でのコミュニケーションが取れる児童については、地域の公園や児童館等に出向き、地域の児童たちと交流できるよう職員が仲介し小集団での交流は実施している。
3	ご自宅への送り迎えを対応していない。	言語聴覚士を中心に療育を行っており、療育を担当した職員と直接対面にて日々共有しているため保護者の皆様へ送り迎えの協力をして頂いている。	就労しているご家族には長時間での対面による共有が難しい部分もあるため電話での共有を行っているが、時差出勤を作る等にて共有の時間が確保を検討したい。